ウルグアイ経済報告（11 月分）

【概況】

●11 月の消費者物価指数（対前年同月比）は 8.40%となり，先月に続き政府のインフレ目標（3～7%）を上回った。前年同月比で食料品・ノンアルコール飲料の分野では 2 桁，それ以外の分野では 1 桁台の増加であった。

●11 月の対ドル為替レートは平均 37.84 ペソと，前月比 2%のペソ安となった。

●11 月の輸出額は 695 百万米ドルで，木材，羊毛及び牛肉製品・くず肉の輸出減少に伴い，前年同月比は 2.3%減となった。一方，大豆，コメ，麦芽飲料の輸出は好調であった。

●11 月の輸出額第 1 位は牛肉で，輸出額は，163 百万米ドル（前年同月比 1%増）となった。輸出全体の 69%が中国への輸出であり，対中輸出額の前年同月比は 34%増（29 百万米ドル増）となった。同 2 位はセルロースで，輸出額は 86 百万米ドル（前年同月比 2%減）となった。輸出量減少は，モンテス・デル・プラタ社の工場が整備のため操業を停止したことによるもの。

●輸出が特に不調であったのが木材，羊毛，牛肉製品・内臓・舌を含むくず肉である。木材の輸出額は，中国への輸出減少に伴い（前年同月比 80%減，12 百万米ドルから 2 百万米ドルに減少），90 百万米ドル（前年同月比 4%減）となった。羊毛・織物の輸出額は，主要産品であったカードもしくはコームされていない羊毛，純毛の輸出減少及び主要輸出先であった中国（59%減），ドイツ（85%減），イタリア（81%減），インド（50%減）への輸出減少に伴い 7 百万米ドル（前年同月比 66%減）となった。一方，日本への輸出は大幅に増加（87%増）した。昨年同月には 30 百万米ドルであった牛肉製品・内臓・舌を含むくず肉の輸出額は，米国（61%減）及びイスラエル（47%減）への輸出減少に伴い，22 百万米ドル（前年同月比 11%減）まで落ち込んだ。

●輸出が好調であったのが大豆，コメ，麦芽飲料である。大豆の輸出額は，中国への輸出増加に伴い，32 百万米ドルとなった（内 28 百万米ドルが中国への輸出）。コメの輸出額は，前年同月の約 2 倍に相当する 44 百万米ドル（前年同月比 104%増）となった。主要輸出先のイラク（全体の 29%）に加え，キューバ，ブラジルへの輸出も増加した。麦芽飲料の輸出は，ブラジルへの輸出増加（前年同月の 6 百万米ドルから 12 百万米ドルに増加）に伴い，22 百万米ドル（前年同月比 38%増）となった。一方，パラグアイへの輸出は減少した（前年同月比 20%減）。

●11 月の主要輸出先を見ると，先月に続き中国が輸出先第 1 位となった（179 百万米ドル，輸出額全体の 28%）。冷凍牛肉（84 百万米ドルから 113 百万米ドルに増加）の大幅な輸出増加及び大豆，冷蔵羊肉の輸出増加により，前年同月比は 36%増となった。同 2 位はブラジル（87 百万米ドル，輸出額全体の 13%）で，麦芽飲料の輸出は増加（6 百万米ドルから 12 百万部米ドルに増加）したものの，コメ及び冷凍牛肉の輸出が振るわなかったため，前年同月比は 1%増に留まった。同 3 位は EU で，主要輸出産品である牛肉（56%減）及び皮（96%減）の輸出減少に伴い，輸出額は 41 百万米ドル（前年同月比 45%減）となった。同 4 位はアルゼンチンで，医薬品の輸出増加（1 百万米ドルから 3 百万米ドルに増加）に伴い，前年同月比 32%増（輸出全体の 6%）となった。同 5 位は米国で，輸出額は 37 百万米ドル（前年同月比 32%増）となった。

【トピック】

1　ベネッチ農牧水産大臣のアジア訪問

10 月 28 日から 11 月 18 日にかけて，モンゴル，中国，ベトナムを訪問したベネッチ農牧

水産大臣は，11 月 18 日，農牧水産省にて記者会見を開き，アジア諸国訪問の成果について説明した。

（1） 対中関係

ア　ウルグアイ産蜂蜜の中国への輸出に関する議定書，馬肉の輸出に関する議定書及び市場管理の食品衛生に関する覚書への署名を行った。

イ　本年 12 月 9 日にモンテビデオにて衛生植物検疫措置（SPS）委員会第 5 回会合を開催し，中国・ウルグアイ両国の専門家が鶏肉，内臓，非遺伝子組み換え大豆，モロコシ等の新たな食品の輸出に関し検討する旨決定した。

ウ　大手乳製品会社コナプローレ社及びクラルディ社が，複数の中国企業との間で貿易・協力協定への署名を行った。

エ　交渉の末，ウルグアイ企業による中国市場へのブルーベリー輸出が決定した。

オ　フロリダ食肉処理会社が今後 5 年間で 6 万トンの牛肉を中国に輸出することで合意に至った。

（2） 対モンゴル関係

ベネッチ大臣のモンゴル訪問中，多くの企業がウルグアイの乳製品企業との関係構築，交渉拡大への関心を表明した。

（3） 対ベトナム関係

ベネッチ大臣のベトナム訪問中，ベトナム政府閣僚は，メルコスール・ベトナム FTA 交渉開始への関心を表明した。

2　ウルグアイ・メキシコ FTA 第 2 修正議定書への署名

11 月 27 日，ニン・ノボア外務大臣は，バルセロ駐ウルグアイ・メキシコ大使との間で，ウルグアイ・メキシコ FTA 第 2 修正議定書への署名を行った。今次署名に伴い，ウルグアイはメキシコへの冷凍・冷蔵牛肉の輸出に際し，250 トンに対し 100%の特恵関税を適用することが可能となる。

3　IDB

11 月 11 日，アストリ経済財務大臣は，ウルグアイを代表し，米州開発銀行（IDB）との間で，公共手続きの簡略化，ウルグアイの研究・開発分野への投資増加，持続可能な環境・品質管理を目的とした新たな融資案件 3 件への署名を行った。

4　失業率

9 月の失業率は 9.5%となり，本年第 3 四半期（7 月～9 月）の失業率平均は 9.2%となった。本年 1 月からの数値と比較すると，微妙な上昇を続けている（第 1 四半期 8.8%，第 2 四半期 8.9%）。

5　財政赤字

11 月 29 日の経済財務省の発表によると，本年 10 月までの 12 ヵ月間の財政赤字の対 GDP 比は 4.7%と，9 月に比べ 0.2%減少した。

6　製造業生産活動指数

本年第 3 四半期の燃料公社（ANCAP）を抜いた製造業生産活動指数（IVF）の前年同期比は 2.7%増となった。

（了）